

議 事 録

件 名	第23回学校安全対策委員会	
日 時	平成31年3月18日(月) 18:30~20:00	
場 所	久留米市庁舎3階305会議室	
出席者	委 員	新山委員長、広津副委員長、古賀(文)委員、馬場園委員、猪飼委員、綾部委員、古賀(幸)委員、佐野委員、諸藤委員、鹿毛委員、今村委員、淵上委員、平田委員
	事務局	【学校教育課】石橋、内田【安全安心推進課】江原、坂田
欠 席 者	木本委員、福永委員	
傍 聴 者	なし	
次 第	<p>1. 開会</p> <p>2. 報告事項 (1) 今後の主なスケジュールについて</p> <p>3. 協議事項 (1) 平成30年度の取組実績について (2) 平成31年度取組方針(案)について (3) 防犯の取組について (4) 防災の取組について ①地震時の通学路の安全 ②地域防災力の向上 (5) 広報啓発について</p> <p>4. その他</p> <p>5. 閉会</p>	
質 疑	<p>2. 報告事項(1) 今後の主なスケジュールについて</p> <p>◆安全安心推進課が、資料1をもとに、今後のスケジュールを簡単に確認した。</p> <p>●質疑・意見 特になし</p> <p>3. 協議事項(1) 平成30年度の取組実績について</p> <p>◆学校教育課が、資料2(総括表)、資料3(安全アンケート結果)、資料4(個票)をもとに、本年度の各学校の取組や学校安全対策委員会の取組とその成果・課題について説明した。</p> <p>●質疑・意見 特になし</p> <p>3. 協議事項(2) 平成31年度取組方針(案)について</p> <p>◆学校教育課が、資料5(総括表)をもとに、各学校の次年度の取組の計画について説明した。</p> <p>●質疑・意見 特になし</p> <p>3. 協議事項(3) 防犯の取組について</p> <p>◆学校教育課が、資料6(防犯緊急点検結果)、資料7(防犯緊急点検の調査要領)資料8(子供110番の家調査結果)をもとに、子ども達の防犯上の安全を守るために取組べきことについて協議したい旨を説明した。</p>	

議 事 録

●質疑・意見

【委員①】共働き家庭も増えてなかなか難しい面もあるが、子供110番の家はできるだけ増やしていく方がいいと思う。

【委員②】老朽空き家を減らす対策をお願いしたい。

【委員③】子供110番の家に協力してくれる民家は多いが、避難できる状況にない家もある。24時間営業のお店は親会社の管理などあってもなかなか協力が得られない場合もある。市からも協力要請をしてほしい。

【委員④】安全安心推進課では、防犯カメラの設置に対する補助金を出している。本年度は17箇所補助をした。次年度も予算確保しているので活用してほしい。

【委員⑤】ICタグを使った登下校の防犯システムでカメラを設置してくれるNPOもあるので、それも活用できる。

3. 協議事項（4）防災犯の取組について ①地震時の通学路の安全

◆学校教育課が、資料6（ブロック塀の緊急点検結果）、資料9（ブロック塀の緊急点検の調査要領）をもとに、地震時の通学路の安全を守るために取組べきことについて協議したい旨を説明した。

●質疑・意見

【委員⑥】看板や屋根瓦の危険箇所については、どこをお願いしていいのかが分からないので、そこを明確にしてほしい。

【委員①】近隣では、附属中学校や大電が撤去しているのを見た。会社等はできるかもしれないが、個人宅になるとお金もかかるので難しいと思う。

【委員⑤】すぐに対策はできないだろうから、危険箇所を子供たちに周知することが大切だと思う。

3. 協議事項（4）防災犯の取組について ②地域防災力の向上

◆学校教育課が、資料10（SC実態調査結果）をもとに、地域の防災訓練の参加状況等の問題点について説明し、防災意識を高めるために取り組むべきことについて協議したい旨を説明した。

●質疑・意見

【委員⑦】スマホの校内への持ち込みについての議論があるが、防災の視点からはスマホは大変有効なので持ち込みには賛成である。大人はスマホを使って情報が得られるが、子供にもそれができるようにするべきではないか。登下校中やエレベーターの中で一人の時に地震があつたりしてもスマホがあれば子供も対応が可能になる。

【事務局】地域の防災訓練への参加が少ない。学校と地域が合同で防災訓練を実施するといいいのではないかと考えている。

【委員⑧】地域の防災訓練をする自治会がここ数年で増えてきている。高齢者や小さい子供をどうやって避難させるか考えるのに有効である。まずは各自治会でやっていくことが必要で、それができるようになったら学校と連携して下校時などを想定した訓練をするといいいと思う。

【事務局】本年度、各学校で防災マニュアルを作成してもらうようお願いしている。学校は災害の際には避難の拠点にもなるので、人的、物的、仕組みづくりなどの視点から考えていく必要がある。また、スマホの学校への持ち込みについては、メリットとデメリットがあるので、一概に持ち込みがいいとは言えない。持ち込みを許可すれば、それに伴う生徒指導上の問題が多発することに想定される。責任の所在をどうするのか、持っていない子・買ってもらえない子の安全はどうするのかなど、議論すべきことがまだたくさんある。引き続き協議していきたい。

【委員⑤】上津小学校はモデル校としてセーフコミュニティの取組を進めてきたが、上津でも地域防災力の視点からの取組は進んでいない。今後考えていかなければならない課題である。

3. 協議事項（5）広報啓発について

◆安全安心課と学校教育課から、資料11（広報啓発）をもとに、これまでの広報啓発活動を振り返り、今後、学校安全対策委員会として広報すべき内容がないか、作成すべきチラシ等はないか協議したい旨を説明した。

●質疑・意見

【事務局】標語の応募が年々増えてきているので、カルタを作るといいのではないかと考えている。また、不審者が出た場合の情報の流れ図のようなものを作成するのも一つの啓発活動になると思う。

【委員⑥】カルタは警察でも作ったことはあるが、作った後にどのように活用するかがポイントである。競技大会を開くなどしないと活用がされないと思う。

【委員④】学校教育課が作成した指導用のチラシなどは、学校安全対策委員会にかけなくても「セーフコミュニティ」「学校安全対策委員会」の表示を入れて配布していいと思う。

4. その他

【委員⑥】（「みなもっち」のチラシの紹介）ぜひ多くの方に使ってもらいたい。